

平成23年3月31日

神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校長

事故防止会議の活動状況等について（報告）

1 平成22年度における活動状況

1) 校内研修会の実施

管理職やグループにより（事務室を含む）テーマ・項目ごとに実施した。

- ・ 4月14日 職員の「非違行為」の報告等について（出席者41名）
STOP! ザ・スクール・セクハラ
私費会計の取扱いについて
- ・ 4月28日 服務について（出席者40名）
- ・ 5月28日 USBメモリなどのパスワードによる使用制限（機密の確保）について（出席者38名）
個人情報流出事例について
適正な試験問題の作成について
- ・ 6月24日 熱中症予防について（出席者42名）
水難事故等の防止について
- ・ 7月15日 私費会計について（出席者49名）
不祥事ゼロプログラムについて
- ・ 9月1日 調査書発行における事故防止について（出席者42名）
- ・ 10月29日 部活動における事故防止について（出席者40名）
- ・ 1月12日 入学者選抜における事故防止について（出席者39名）
- ・ 2月10日 生徒指導要録の入力、記録に関する注意事項について（出席者43名）
- ・ 2月25日 文書管理について（出席者46名）

2) 教育委員会よりの「通知」等の周知、徹底

職員会議や朝の職員打合せ時に校長より職員への周知、徹底を図った。

職員室内の掲示等により職員への周知、徹底を図った。

不祥事防止啓発資料については、その都度増刷し、会議資料として配付するなど活用した。

3) 校内点検体制の確認

校内での点検等の体制が、形骸化することなく機能するよう適時確認を行った。また、内容によっては、教科会でも点検、確認を行い、徹底を図った。

- ・ P.C. やUSBメモリ等の扱いについて
- ・ 個人情報の扱いや持ち帰り等について
- ・ 試験問題作成や管理等について

4) 校内施設の安全点検の実施

- ・ プールについて
規定のもの以外に、校内の部活動においても、記録簿を用い事故防止に努めた。
- ・ 旧校地の老朽化した施設等において、事務室や保健体育科との連携を密に事故防止に努めた。

2 上記の活動に対する校長の意見

校長の指示はもとより、グループごとの課題の把握とその改善策の実践が円滑に行えるよう指導、助言を行っている。不祥事防止においても、日頃からの「報告・連絡・相談」の徹底を図るとともに、組織としての取組となるよう運営してきている。今年度も、校内研修等当該グループを機能させながら実効性のある取組となった。

次年度も不祥事防止における職員の意識を高めつつ、今年度の実態を踏まえ、更なる取組となるよう指導を行ってゆく。

3 次年度における取組予定

事故防止についての体制は整っているので、平成23年度においても徹底を図ってゆく。

校内研修の実施方法については、今年度のやり方が職員にも浸透しており、また効果も望めるので、来年度においても同様の実施形態を予定している。

以上